

(2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

- ・ 鉱工業生産は下げ止まりつつある。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直している。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

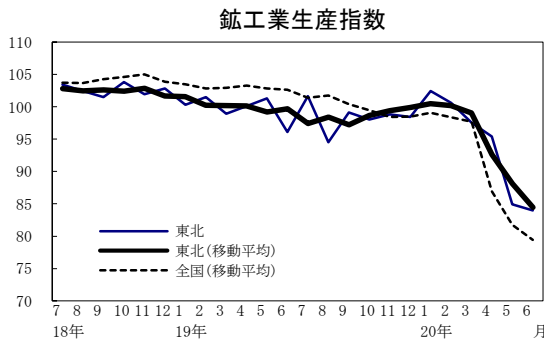
前回からの主要変更点

	前回 (令和2年5月)	今回 (令和2年9月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる	↑
鉱工業生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している	下げ止まりつつある	↑
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している	このところ持ち直している	↑
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は下げ止まりつつある。

4-6月期には、電子部品・デバイス、コネクタ等が減少した。食料品は、清涼飲料等が減少した。化学・石油製品は、化粧品等が減少した。輸送機械は、乗用車等が減少した。生産用機械は、超硬工具等が減少した。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の大線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1-3 月期	4-6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	15.3	5.4	▲10.5	0.9	▲9.7	▲7.9
食料品	11.0	0.3	▲6.5	▲2.2	▲4.3	6.5
化学・石油製品	9.1	▲0.5	▲8.7	▲5.1	0.5	▲1.6
輸送機械	7.9	▲1.4	▲30.9	▲11.9	▲29.8	▲0.9
生産用機械	6.7	12.6	▲1.3	14.0	▲3.0	▲18.3
鉱工業	100.0	1.8	▲12.1	▲2.2	▲11.0	▲1.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4-6月期、6月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

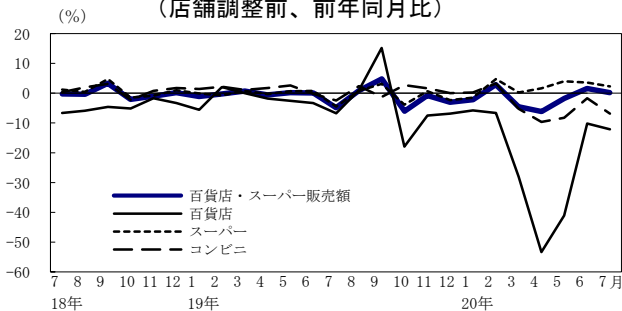
4月は前月比2.7%減、5月は同0.1%減、6月は同3.5%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4、5月は、緊急事態宣言等に伴う休業や営業時間の短縮が実施されるなか、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。6月は、衣料品等が減少し、前年を下回ったが、緊急事態宣言解除に伴う営業再開等により、減少幅は縮小している。7月は前年同月比12.1%減となった。

スーパーは、4－6月期は、飲食料品等が増加したことにより、前年を上回った。7月は前年同月比2.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2020年4-6月	2020年4月	5月	6月	7月
RDEI（消費*1）	▲5.5	▲2.7	▲0.1	3.5	—
百貨店・スーパー*2	▲2.1	▲6.2	▲1.8	1.6	0.2
百貨店*2	▲34.6	▲53.3	▲41.1	▲10.2	▲12.1
スーパー*2	3.1	1.6	4.0	3.6	2.3
コンビニ*2	▲6.6	▲9.7	▲8.3	▲1.7	▲6.9
乗用車*3	▲30.2	▲30.5	▲44.1	▲17.3	▲11.7
(季節調整値) *3	▲19.2	▲13.3	▲18.2	30.9	14.4

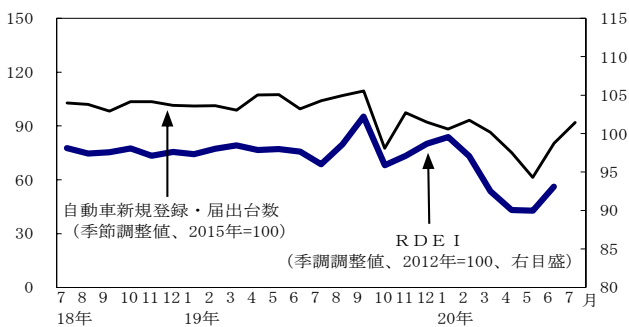
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2020年7月は速報値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移

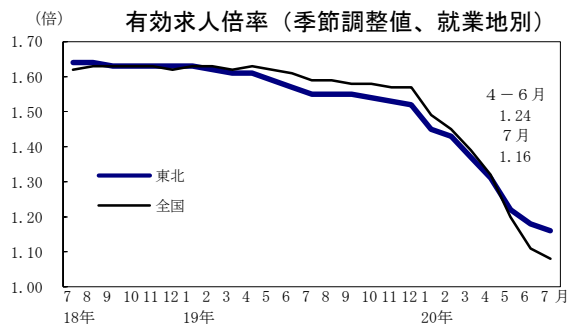


3. 雇用情勢

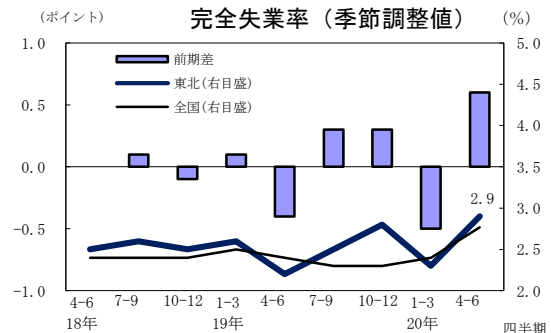
雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

有効求人倍率（季節調整値、就業地別）



完全失業率（季節調整値）



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年7月調査) 景気判断理由の概要

2. 東北

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野	判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	・ 特別定額給付金の特需効果が出ている。住宅設備機器ではエアコン、給湯器、コンロなどの交換が急増しており、リフォームでは屋根外壁塗装工事やハウスクリーニングの問合せが増えている (その他住宅 [リフォーム])。	
		・ 来客数は前年比 88% と厳しい状況で、6 月よりも 2 % ダウンしている。キャッシュレス還元終了やレジ袋有料化が向かい風となっている (コンビニ)。	
	企業 動向 関連	・ 今月上旬は県主体の県民限定キャンペーン、下旬は Go To Travel キャンペーンが始まり、予約の件数は増えてきている (観光型旅館)。	
		・ 新型コロナウイルスの影響は、プラス、マイナス面が共にあり、受注量、販売量の動きはトータルの大きな変化がない状況である (電気機械器具製造業)。	
雇用 関連	×	・ 周囲の農家は、梅雨前の乾燥と梅雨の長雨により、果樹や野菜の品質が低下し収穫量も落ちており、売上減となっている (農林水産業)。	
	×	・ 主力商品の IT 機器が部品調達の遅れにより製品の入荷が滞り、受注しても納入できない状態が続いている (コピーサービス業)。	
その他の特徴 コメント		・ 新型コロナウイルスの感染者の多くは大都市やその周辺地域なので、当地域ではやや安心感がみられる。また、緊急事態宣言の解除もあって買物行動に活気が出てきている (その他企業 [企画業])。	
		・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響がある (新聞社 [求人広告])。	
		・ 求人減少数は変わらないが、求人増加数が 2 ~ 3 か月前と比較して増加しているため、求人数全体の減少が徐々に落ち着いてきている (人材派遣会社)。	
		： 緊急事態宣言解除後から少しずつではあるが良くなっている。ただ、市内での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生以降、予約のキャンセルが相次いでおり、予断を許さない状態である (一般レストラン)。	
		： 新型コロナウイルスに加えて梅雨が長引いており、4 連休も低調で前年の 7 割にとどまっている (遊園地)。	
分野	判断	判断の理由	
先行き	家計 動向 関連	・ まだまだ新型コロナウイルスによる内食需要が続いているため、食品スーパーとしてはやや景気の良い状態が続いており、2 ~ 3 か月後も変わらないとみている (スーパー)。	
		・ 新型コロナウイルスの終息がみえてこない限り、人の移動が制限されて県外からの観光客もまばらなままである。県内のプレミアム食事券や宿泊券の利用で活気を取り戻してほしい (衣料品専門店)。	
	企業 動向 関連	×	・ 新型コロナウイルス感染が再び広がっており、再び人の動きが減り、秋の観光シーズンに影響がでないか心配である (食料品製造業)。
		×	・ 新型コロナウイルス感染予防のため、各種イベントが中止、延期になっていることに加え、取引先の飲食業関係の不振により、受注残が前年比 6 ~ 7 割に落ち込んでいる (出版・印刷・関連産業)。
雇用 関連	×	・ 国から在宅勤務 7 割の要請が出たため、リモートワークの見直しや、設備投資などで問合せが増えている (通信業)。	
	×	・ 新型コロナウイルス感染者の増加による自粛要請が再び高まることを想定しており、移動制限による経済への影響は甚大になる。特に夏休みから秋の行楽シーズンで盛り上がるべき飲食、観光が振るわないことは大きな損失につながる (その他非製造業 [飲食料品卸売業])。	
その他の特徴 コメント		・ 新規求人数がやや上向く一方で、解雇、雇止めの情報もあり、気になることである (職業安定所)。	
		： Go To Travel キャンペーン等、政府の様々な施策が立てられているものの、やはり新型コロナウイルス終息の道筋がみえない限り、景気に対する消費マインドは不透明感が続くと思われる (その他小売 [ショッピングセンター])。	
		× : 給付金特需があった分、反動減が必ず出てくる。2 ~ 3 か月後は反動減がピークになってきている時期ではないかとみており、大きく落ち込む予測である (家電量販店)。	

(D I) 現状・先行き判断 D I (東北) の推移 (季節調整値)

